

WORKING TIME

武田さんの1日

- 5:30 起床
- 7:00 出社
- 7:50 朝礼後、現場へ移動して植栽作業
- 12:00 昼休み
- 13:00 植栽作業
- 16:00 現場から会社へ戻る
- 17:30 退社
- 23:00 就寝

昼休憩は1時間
車の中でゆったり

12:00



昼休みの1時間は車内で弁当を食べたりスマホを見たり。「起きられなくなると怖いので昼寝はしません」。仕事開始10分前には午後の仕事の準備を始めます

現場から帰ると
図面描きの時間

16:00



現場から会社に戻って、ほっとする間もなく、山積みの図面描きをスタート。「図面描きはまだまだ勉強中。早く仕上げないと迷惑が掛かるので、焦ります」

PRIVATE TIME

武田さんのちょっとプライベートコーナー



休日は
1日寝たいけど
愛車を磨いたり

友人を家に招いて
料理を楽しんだりも
しています



「現在は主にどんな仕事をしていますか。」
刈り払いと伐採が中心です。今日のように植栽もやります。刈り払いは高校のときにも実習で習いましたが、ただの草刈りだと思っていたので現場で木を育てるための草刈りと聞いて驚きました。1年前から図面も描いています。現場とは違う、

今もコンビニに行くとか新商品のチェックは欠かせません(笑)。林業は現場も変わるし、さまざまな仕事がある。こんなに楽しい仕事はないです。



緊張感があります。現場から事務所に帰ってくると図面仕事があつて休めません。図面描きも絶対必要な仕事と分かっているので、早く、上手く描けるようになりたいです。——やってみたい仕事は。木登りです！いつも先輩が登るとき下から見て「いいなあ」と登る機

会を狙っていて。仕事に余裕があつたときに許可をもらい、登らせてもらいましたけど、すごいです！世界が違って見えました。そのときは4、5メートルだったけどもつと高い位置から見るとどうなるんだろうと楽しみです。特殊伐採もやってみたいです。——今後の目標は。もつと仕事ができるようになって先輩たちを支えられるようになりたい。実際は毎日、へとへとで休みたい気持ちもあります。それ以上に達成感のあるこの仕事が好きです。これから仕事が増えることも覚悟しています。がんばります。

「実際に働いてみての感想は。」
体力仕事なので最初はついていくのが精いっぱい。部活で格闘技をやっていたので体力には自信がありました。が、体の使い方が全く違います。長く林業で働いている先輩たちは体



林業マンINTERVIEW

くびき野森林組合

TAKEDA KOSUKE

武田匡甫



1998年、柏崎市生まれ
上越市高田在住(19歳)
林業経験2年目

新しい体験にわくわくする！
林業の仕事が大好きです

「林業に興味を持ったきっかけは。」
祖父が大工だったので大工を目指して高田農業高校の森林資源コースをとっていました。映画「WOOD JOB！」を見て林業もあのかなど。その後「森の仕事体験(学生を対象にした林業体験研修)」に参加したら作業内容も面白くて、ありだな！(笑)と、森林組合に入社を希望しました。

の土台ができていくし、体の上手な使い方を分かっています。あと5年位経ったら60歳台の先輩たちについていけるかなあ。

「苦労したことは。」
夏は暑いし、冬は寒くて辛い。80%は辛い仕事だと思っています(苦笑)。でも辞めたいと思ったことはないです。仕事内容が魅力ですし、みんないい人ばかりなので。

「林業のどんなところが魅力ですか。」
新しい体験ができることです。初めてのことを体験するときのわくわくする感じがたまらなく好きなんです。子どもの頃からずっとそうなんです。

「林業のどんなところが魅力ですか。」
新しい体験ができることです。初めてのことを体験するときのわくわくする感じがたまらなく好きなんです。子どもの頃からずっとそうなんです。

「林業のどんなところが魅力ですか。」
新しい体験ができることです。初めてのことを体験するときのわくわくする感じがたまらなく好きなんです。子どもの頃からずっとそうなんです。

現場仕事の打ち合わせ中。この日の現場は上越市牧区片町地区の山林。4人チームで植栽作業を行っていた。3人の先輩たちは武田さんのお父さんよりも年上。「皆さん、仕事も早く、いろいろ教えてもらって感謝しています」

